

団体名:片平学区子育て支援ネットワーク連絡会
活動名:片平学区・多世代交流の場づくり

日時:令和3年 11月7日(日)・11月23日(火・祝)
場所:名古屋市立片平小学校 体育館・千句塚公園(緑区)

◆◇活動の内容◇◆

名古屋子育てセンターまちづくり活動助成事業
子育て支援活動 すべての親子もたつた大人へ
～思いっきり遊ぶ～
それはとっても大事なことです！

11月7日(日) 13時～
13時～15時 親子で遊ぼう(自由遊び)
15時～17時 プレーパーク体験
17時～19時 夕食・交流

11月23日(祝) 千句塚公園にてプレーパーク開催予定
講師:塚本 恵さん(竹クちゃん)

主催:片平学区子育て支援ネットワーク連絡会

地域での子育てに取り組むこの団体。今回は、色々な地域で「子どもの遊び場づくり」に取り組んでいる、塚本岳さんを講師に招き、一日目は座学で、二日目は実践で、プレーパークに挑戦しようというもの。実は緑区には、現在4つのプレーパークがありますが、今回、片平学区でもやってみよう！と、企画されたもので、団体さんの子育て支援活動への真剣な思いが感じられます。

一日目。学区から親子での参加者が集まり、講師の話。「子どもが自らの意思で自由に遊ぶ」、こんな当たり前のことがなかなか出来なくなっている最近。だが、子どもたちは“遊び”を通じて、挑戦や成功・失敗を繰り返し、合意形成やコミュニケーション力を身に付けている。それがいかに重要かということ、色々な事例を挙げながら語ってくれました。その後、参加者はグループに分かれ、実際に自分たちの身近な公園で何ができるかをワーク。イメージを描き、期待が高まります。



そして迎えた二日目は、プレーパークの実践。馴染みのある公園ですが、この日は各所で色々な“遊び”の下準備がされていました。最初は様子をつかっていた子供も、すぐさま気に入ったものに突き進み、一心不乱に遊び始めます。縄跳びやフラフープ、木に括りつけられたブランコ、小さな丘の斜面を利用したそり遊び、落ち葉を集め山にしては崩し、感触を楽しむ…。ブルーシートの上に用意された木片で、釘やのこぎりを使う子を見て、「危くないかな」「作るものの見本はあるのかな」などと感じる大人の余計な心配は見事に裏切られ、すごい集中力で黙々と木を切り釘を打ち、思い思いのものを作る様子に、「自らの意思で自由に遊ぶ、それが大切」という、講師のお話を思い返しました。

中央では、薪を集めてたき火。そこに集まり、串に刺したマッシュマロを、場所を譲り合いながら自分で焼いて食べる。芋が焼けたと聞けば、列に並んで、少し恥ずかしそうに「ください」と言って受け取る様子。すべてが、子どもたちの学びになっているように感じました。

「プレーパークはまちづくり」と、一日目の講義で聞いたキーワードが、二日目の実践を見て、リアルに実感。こんな活動を経験して育った子は、自分のちからで住みよい地域を作っていけそう。私たちにとっても、色々な気づきのある活動でした。

